

事業所名

こども発達相談センター・ベンチ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念	1 一人ひとりの“いのち・こころ・くらし”の安心・安全を支えます。 2 一人ひとりが、満足感、自己肯定感を抱いて、自分らしく豊かに生きることができる支援をめざします。					
支援方針	・一人ひとりに合わせた支援 ・小集団を通じて社会性やコミュニケーションの向上 ・保護者様のサポート					
営業時間	10時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり
5領域	支援内容					
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握（来所時検温・手洗い・消毒） ・構造化を意識した部屋のレイアウトや視覚的掲示により身支度や物の管理を支援				
	運動・感覚	《粗大運動》運動遊び、サーキット（トランポリン・ジャンプ・ボール等）を通して多様な動きや体使いを体験するためのプログラムを実施 《微細運動》工作活動（はさみ・のり・テープ・ペン等）を通じた巧緻動作（切る・ぬる・はる・描く・とす等）の習得に関するプログラムを実施 ADLプログラム（結ぶ・たたむ・折る・つつむ など）日常生活動作に必要な動作の習得に関するプログラムを実施				
	認知・行動	・工程表（身支度・工作療育）やスケジュールの視覚的支援、タイムタイマーを活用した終始・見通しの支援、パーテーションによる空間の構造化 ・カレンダー（日付の把握と確認による時間・数・季節）による概念形成の為のプログラムを実施 ・小集団遊びやルールのあるゲームでの適切な行動形成、認知の偏りへの配慮				
	言語 コミュニケーション	・始まりの会での人前での発表（自己紹介・出来事・振り返りなど）により自分の思いの相手への伝え方や状況に応じた適切なやりとり ・小集団活動や遊びの場面設定に応じたやりとり（行動や感情のコントロール・伝え方など）に関するプログラムを実施 ・プリントなどの机上課題により、理解や特性に応じた読み書き向上の支援を実施				
	人間関係 社会性	・他者との関わりの形成、遊びを通じた社会性の発達、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加に関するプログラムを実施 →ルールのある遊びや勝敗のある課題設定（気持ちの折り合いや切り替え、待つ・譲るなど気持ちをコントロールする力） →社会性の獲得に必要なSSTソーシャルスキルトレーニング（他者理解、状況に応じた適切な行動）の実施 SSTの実践：外出体験（公共交通機関を利用する・お金のあつかい・チケットを買う・やりとり・困った時の対処）・クッキング・買い物体験（お金の扱い・やりとり）				
家族支援	・保護者会の実施 ・適宜、保護者様への相談援助 ・きょうだい児に関する相談・助言等			移行支援	・進路先、移行先への相談援助 ・進路先、移行先との情報共有	
地域支援・地域連携	・こども園、保育園、幼稚園、小学校などの併用事業所との情報連携、支援方法の情報共有 ・相談事業所との連携			職員の質の向上	・職員の各種勉強会や研修への参加	
主な行事等	・SSTに関するイベント：外出体験（公共交通機関を利用する・施設利用など）クッキング・買い物体験 ・季節の行事（季節にちなんだ工作・お楽しみ会・大掃除 など） ・お楽しみプログラム（お楽しみ工作・文集づくりなど） ・避難訓練：年1回 ・保護者を対象とした災害時緊急連絡訓練：年1回 ・クラス説明会 ・保護者会 ・個別面談 ・見学					